

# 領家中だより

令和4年10月31日  
横浜市立領家中学校  
学校長 熊野 リカ

横浜市泉区領家 4-3-1

TEL 811-6641

FAX 812-9645

No. 6

## つながる 拡がる

校長 熊野 リカ

一気に秋めき、暑い暑いと言っていた日々がはるか昔のように感じられてしまうほどです。全国旅行支援という施策が報道された翌日には「売り切れた」というニュースに変わっていたり、外国人観光客の受け入れ条件が緩和されたりと、これまで硬く守ってきた人流抑制に対して世の中がだいぶ寛容になってきているようです。領家中学区の地域でも、運動会やお祭りが3年ぶりに行われ、領家中の生徒もボランティアとして受付に立ったり、綿菓子を作ったり、小さな子の手を引いて案内したりと活躍する姿を見ることができました。地域の方にその力を期待されることもありがたいことですが、自分から役に立とうと動く姿が何より素敵です。後日、地域の方から「ありがたかった」「助かった」「がんばってくれていた」と温かい言葉をいただいています。4月から始めたボランティアカードもハンコがいっぱいになった人もちらほらと出ているようで、心のつながりが拡がっていくを感じています。



10月6日(木)、泉公会堂にて領家祭(合唱コンクール)が行われました。実に3年ぶりの開催です。公会堂の座席数の関係で、午前中は1・2年生の部、午後は3年生の部とし、保護者の方も入れ替え制を取らせていただきました。1・2年生は3年生の歌を聞けず、3年生は他の学年の歌を聞けないという異例の形ではありましたが、この形をとったのは、昨年度のうちに行った生徒対象のアンケートで、自分たちの合唱を誰かに聞いてほしいかを聞いたところ、それは保護者であるという回答が最も多かったからであると聞きました。中学生になると学校の様子を家で語らなくなるとよく言いますし、これまでも幾度となく三者面談等で寂しそうに伝えられた言葉でもあります。言葉で様子は語らなくとも、心の中は自分たちの努力の結晶を見せたいと思っていたのでしょう。そんな心のつながりを垣間見たようでした。

実質1ヶ月の、しかも感染症対策をしながらの練習でした。でも、当日の歌声は、そんな窮屈さを微塵も感じさせない、のびやかで生き生きとしたものでした。発表したすべてのクラスがベストを尽くしていることが伝わってきて、豊かな時間を過ごしました。合唱を創り上げていくまでの期間はおそらく楽しいことばかりではなかったらと思います。たくさん悩み、迷い、不満に思ったり、不安に思ったり、クラスごとに、そのクラスだけのドラマがあったことでしょう。その経験が、生徒の皆さんにとって素晴らしい成長であると思っています。その成長を誇り、「もっとこうしたかった」という思いを次のエネルギーとして新たな一歩につなげていってほしいと願います。

3年生が何度も「最初で最後の合唱コンクール」と言っていました。本来であれば、1年次の経験を2年で活かし、その経験も活かした集大成として3年次の発表を、と進めていたはずだと考えると、止まっていた時の大きさを痛感します。しかし3年生たちは、「最初で最後」という思いを力に変え、心のこもった発表を創り上げました。その姿は、誰かの真似ではなく自分たちの思いで創り上げたオリジナルな姿でした。その姿から、コロナで止まってしまった“時”をポジティブに変換させるという視点を教わった気がして、はっとしました。

一週間後の小中交流会で、3年生最優秀クラスの合唱を披露しました。中学校の代表として、堂々とした合唱を披露してくれ、再び感動させていただきました。初めての取組でしたが、小学校の先生方からも大変好評で、来年はもっとこうできれば、と可能性がどんどん広がっています。



# 領家祭 合唱コンクール～領家—SCENE～

3年ぶりに合唱コンクールを実施することができました。感染症対策のため午前に1・2年生の部、午後に3年生の部という形で実施しました。ご理解ご協力いただきありがとうございました。マスクをつけて距離をとり、約1か月間練習してきました。制限の中、自分たちにできることを考え工夫しながら練習する前向きな姿がとても印象的でした。本番はどの学年、どのクラスももち味を輝かせ、素敵な合唱を響かせた、感動的なコンクールとなりました。全ての学年及び保護者の皆様が揃って、コンクールを実施することを目指していきます。

## 1 学年の部

最優秀賞 5組「COSMOS」



優秀賞 1組「With you smile」



## 2 学年の部

最優秀賞 2組「HEIWAの鐘」



優秀賞 1組「輝くために」

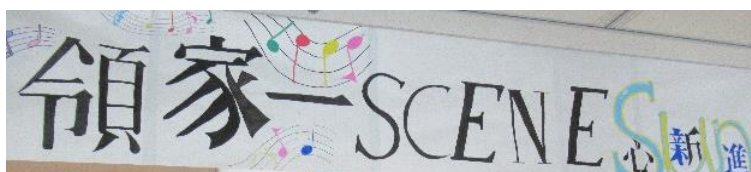


## 3 学年の部

最優秀賞 2組「ほらね、」



優秀賞 3組「変わらないもの」



美術部の協力のもと作成したスローガンです。  
泉公会堂のホール入口に掲示しました。

## 交通安全教室

10月13日（木）に泉警察署交通課と泉区交通安全協会の方々にお越しいただき、1年生を対象とした交通安全教室が開催されました。当日は残念ながら雨模様だったので体育館での実施となりました。講義では、交通ルールの確認や「注意」について、自転車の片手運転の危険性などについて学びました。体験では、各クラスの代表生徒1名が片手運転やイヤホンで音楽を聴きながらの運転を体験し、危険運転の怖さを学びました。カーブミラーの死角については全員が体験し、死角の危険を学びました。今回の講話や体験をもとに日常に潜む危険についてもう一度考え、安全な日常が送れるようにしましょう。

生徒指導専任 長谷部 浩





## 令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

3年生に実施（4月19日）した「全国学力・学習状況調査」の結果が公表されました。本校の特徴と今後の取組と合わせご報告いたします。国語、数学、理科の3教科における平均正答率は、全国、県を上回りました。今後も主体的な学習への取組と学習内容の定着が図れるよう工夫、改善してまいります。

	領家中	神奈川県	全国
国語	72	69	69
数学	57	53	51.4
理科	52	50	49.3

(平均正答率 %)

生徒質問紙の結果からは、自分には、よいところがあると思っている生徒が83.9%で、全国平均(78.5%)を上回り、多くの生徒が自己肯定感をもっていることが分かりました。また、自分と違う意見について考えるのが楽しいという生徒が81.9%(全国平均76.9%)で、変化のはげしい時代に対応するための柔軟性が身につけているようです。

一方、毎日、同じくらいの時刻に寝ている生徒は72.7%(全国79.9%)で、やや不規則な生活リズムといえます。さらに、スマホでSNSや動画を平日2時間以上見ている生徒は62.1%(全国52%)と多く、なかでも平日4時間以上視聴している生徒は21.1%(全国15.6%)と大変多いことが分かりました。

「起床時刻が一定であることと学力との相関がみられる(国立教育政策研究所)」という分析からも、時間を上手にを使って、睡眠(休養)、食事、運動を心がけ、健康第一で毎日を過ごしてほしいです。

### 【国語】

全体的に教科学力は県、全国の平均をやや上回りました。観点別に分析すると「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに、全国、県の平均を2~3ポイント近く上回っています。中でも「行書の特徴や書き方」についての問いに対しては、4ポイント近く上回っており、硬筆の学習の成果が出ています。一方で「資料から必要な情報を引用し、根拠を明確にして書く」問いの正答率が、県、全国の平均を4ポイント以上下回っています。自由に作品を生み出す創作や自由作文には授業でも取り組んでいますが、今後は「根拠を明らかにして文章を書く」など、論理的思考を言語化することを重視し、表現力の育成を図っていきます。

### 【数学】

観点別に分析すると「知識・技能」「思考・判断・表現」ともに、全国、県の平均を4~6ポイント近く上回っています。知識・技能を生かして考える「思考・判断・表現」の問いはすべて3~6ポイント上回っています。今後も身の回りの事象と数学を結び付けた内容を扱っていきます。しかし、「関数」領域における知識・技能を問う「与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る」問題のみ全国・県平均と比較して4ポイント近く下回っていました。再度、表から式を求め、グラフをかいたり、表、式、グラフの関係を比較したりする学習を行います。

### 【理科】

全体的に教科学力は県、全国の平均をやや上回りました。観点別に分析すると全国、県の平均に比べて、「知識・技能」は1ポイント以上、「思考・判断・表現」は2~3ポイント近く上回っています。領域別に見ても、「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」のすべての分野において、全国、県の平均を上回っており、すべての領域において学習内容の定着が見られます。しかし、「玄武岩の露頭で化石の観察が可能か判断し、その理由を選択する」問いの正答率が、県、全国の平均を2~4ポイント近く下回っています。知識の定着のみならず、実際場面で活用できる力を、観察や実験、実習の考察や議論、まとめを通して高めていきます。